第 215 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録（案）

１．日時　2014 年 12 月 8 日(月)　13:30～17:00

２．開催場所　名古屋駅前イノベーションハブ会議室
〒450-0002　愛知県名古屋市中村区名駅 4-4-38
愛知県産業労働センター(ウィンク愛知) 15 階

３．出席者　(順不同，敬称略，○：出席，×：欠席)

幹事団

田中委員長(東京都市大)	○	西川幹事(芝浦工大)	○	関口幹事(住友電工)	○
布施幹事補佐(電中研)	○	今井幹事補佐(東芝) 記	○		

１号委員（50 音順）

岡本委員(富士電機)	×	小林委員(日立製作所)	×	近藤委員(日本ｶﾞｲｼ) 代理井上	○
千綿委員(日立金属)	○	中坊委員(日新電機)	○	長尾委員(豊橋技術大)	○
菱川委員(ﾊﾝﾂﾏﾝ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ)	×	平野委員(東芝) 代理岡本	○	藤田委員(昭和電線)	×
穂積委員(豊橋技科大)	×	本城委員(三菱電線)	×	武藤委員(三菱電機)	×
八木委員(ビスキャス)	○				

２号委員（50 音順）

池田委員(原子力規制委員会)	○	岩本委員(東工大)	×	江原(東京都市大)	×
加藤委員(新潟大)	○	永田委員(兵庫県立大)	×		

オブザーブ委員（50 音順）

蔵田委員(明電舎)	×	本間委員(電中研)	×

４．提出資料

番号なし　第 214 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録（案）
DEI-215-1　電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿
DEI-215-2　電力機器の革新的診断技術の現状と将来展望 調査専門委員会 第 6 回議事録
DEI-215-3　第 1 回 先進ナノ構造制御と高性能有機デバイス・ライフサイエンス応用調査専門委員会 議事録
DEI-215-4　電気学会「優秀技術活動賞」,「特別活動賞」候補者推薦用紙
DEI-215-5-1　平成 27 年 表彰受賞候補者推薦のお願い
DEI-215-5-2　誘電・絶縁材料技術委員会「表彰規定」
DEI-215-5-3　誘電・絶縁材料技術委員会 表彰受賞者案選定「規定細目」
DEI-215-5-4　優秀論文発表賞 候補者推薦のお願い、および電気学会優秀論文発表賞 選考方法について
DEI-215-6　2014 年 誘電・絶縁材料研究会における採点結果
DEI-215-7　調査専門委員会フォローシート（2014 年度計画）
DEI-215-8　平成 26 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定（4 次案）

DEI-215-9　第46回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム(絶縁シンポジウム) 開催提案書（第１次案）

５．議事内容

5-1. 議事録の確認・承認（今井幹事補佐）

第 214 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)の確認を行い、承認された。

5-2. 名簿の確認（布施幹事補佐）

資料 DEI-215-1 に基づき、委員の所属等について確認を行った。変更があった場合は、適宜、布施幹事補佐に連絡する。また、関口幹事の所属の一部を、下記のように修正する。

- エレクトロニクス・材料研究所 → エネルギー・電子材料研究所

5-3. 第 102 回および 103 回 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会(A 部門運営委員会)での議事内容報告（田中委員長）

A 部門運営会での議事内容について、当技術委員会に関係の深い事項が報告された。

- 9 月 11 日に開催された第 102 回 A 部門運営会において、2015 年電気学会全国大会におけるシンポジウムとして、下記の当技術委員会関連シンポジウムが承認され、開催が決定した。
    - 高電界電気絶縁における電荷挙動と界面。
    - 技術伝承を目的とした電力設備の絶縁診断
- 11 月 7 日開催された第 103 回 A 部門運営会において、技術報告の価格を、会員価格では 5%アップ、一般化価格では 20%アップすることが検討された。
- A 部門大会において、若手に対して、A 部門大会についてのアンケートを実施する予定である。
- A 部門活性化資金において、同一の目的で毎年申請する場合は、事前に年度の予算として繰り込んだ方がよいとの意見があった。2015 年の絶縁シンポジウムについては、申請済み。
- A 部門関連の調査専門委員会における解散時の成果形態について、覚書が作成され、下記のことが取り決められた。
    - 解散時における成果形態としては、技術報告，技術報告単行本など 6 種類の形態がある(6 種類の形態の詳細については、後日、田中委員長から、メールでお知らせする)。
    - 解散時における成果形態の基本は、技術報告，技術報告単行本とする。
    - 既に活動中の調査専門委員会において、技術報告，技術報告単行本以外の成果形態を選択する場合は、事前に変更する理由を提出する。
    - 活動前の調査専門委員会において、設置趣意書に、技術報告，技術報告単行本以外の成果形態を記載する場合は、その理由も併記する。
- ISEIM 2014 についての A 部門活性化資金は申請を取り下げた。

5-4. 電力機器の革新的診断技術の現状と将来展望 調査専門委員会 第 6 回議事録の報告（池田委員）

資料 DEI-215-2 に基づき、電力機器の革新的診断技術の現状と将来展望 調査専門委員会における第 6 回の議事録が報告された。

- 2015 年 9 月で解散となる。
- 2015 年の絶縁シンポジウムにおいて、関連セッションの企画・設置を希望する。

5-5. 第 1 回 先進ナノ構造制御と高性能有機デバイス・ライフサイエンス応用 調査専門委員会 議事録の報告（加藤委員）

資料 DEI-214-5-3 に基づき、先進ナノ構造制御と高性能有機デバイス・ライフサイエンス応用 調査専門委員会における第 1 回の議事録が報告された。研究会も開催済み。

5-6. 電気学会「優秀技術活動賞」,「特別活動賞」候補者推薦について（今井幹事補佐）

資料 DEI-214-5-4 に基づき、先端複合ポリマーナノコンポジット誘電体の応用技術 調査専門委員会で出版した技術報告単行本「ナノテク材料 ～ポリマーナノコンポジット絶縁材料の世界」を、電気学会 優秀技術活動賞(グループ著作賞)に推薦する件について審議を行い、承認された。また、東京フォーラム(以前の講習会)開催については、電気学会事務局(山本様)に問い合わせをする。

5-7. 平成 27 年 表彰受賞候補者推薦について（関口幹事）

資料 DEI-215-5-1 に基づき、平成 27 年 表彰受賞候補者推薦についての検討を行い、下記のことを取り決めた。

- 平成 27 年 表彰受賞候補者推薦のお願いを、関係者に配布する。推薦の締め切りは、2015 年 2 月 15 日とする。
- 2015 年 3 月 9 日までに表彰員会での選考を行い、選考結果を 3 月 9 日に開催予定の当技術委員会に提出する。
- 平成 27 年 表彰受賞候補者推薦の依頼者は、電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会(電気学会を付ける)とする。
- 推薦書の送付先は、田中委員長、および関口幹事(表彰委員会長)とする。
- 表彰委員会の委員は、元当技術委員会委員長 : 大木先生, 長尾委員, 若手 : 新保先生(新潟大), 小迫先生(九州工業大)、企業 : 八木委員(ビスキャス), 武藤委員(三菱電機), 栗原様(電力中央研究所)となっている。

5-8. 誘電・絶縁材料技術委員会「表彰規定」について（関口幹事）

資料 DEI-215-5-2～5 に基づき、誘電・絶縁材料技術委員会における表彰規定についての検討を行い、下記のことを取り決めた。

- 矢作賞については規定に受賞講演の記載がなかったため、犬石賞，家田賞と同様に、受賞講演を行なうことを明記する。
- 犬石賞は ISEIM、家田賞, 矢作賞は絶縁シンポジウムで表彰することを規定に明記する。

- 規定に記載する表彰名称(英文名称)について、下記の通りとする。
    - 犬石賞および受賞記念講演
      Inuishi Memorial Award and Inuishi Memorial Award Lecture
    - 家田および受賞記念講演
      Ieda Memorial Award and Ieda Memorial Award Lecture
    - 矢作賞および受賞記念講演
      Yahagi Memorial Award and Yahagi Memorial Award Lecture

5-9. 優秀論文発表賞 候補者推薦について（関口幹事）

資料 DEI-215-5-4 および DEI-215-6 に基づき、誘電・絶縁材料研究会における優秀論文発表賞 候補者推薦および 2014 年の誘電・絶縁材料研究会における採点結果についての検討を行い、下記のことを取り決めた。

- 推薦用紙については、従来のものを使用する。
- 誘電・絶縁材料研究会での推薦者選定のお願いを、当技術委員会の Web-site にも表示する。
- 2014 年の推薦対象となる誘電・絶縁材料研究会は、12 月 9 日の空間電荷・ナノコンポジットが最後となる。研究会終了後、採点結果をまとめ、受賞候補者を選定する。

5-10. 調査専門委員会活動状況の確認（西川幹事）

資料 DEI-214-7 に基づき、調査専門委員会活動状況の確認を行なった。

- 先進ナノ構造制御と高性能有機デバイス・ライフサイエンス応用（委員長：加藤委員）
    - 2014 年 10 月 29 日に、委員会を開催済み。
    - 2015 年 1 月 21～22 日に、委員会および研究会を開催予定。
    - 2015 年 3 月 9 日に、委員会を開催予定。
- アジア地区における有機誘電性・機能性電気電子材料の次世代エレクトロニクスへの応用に関する（委員長：岩本委員）
    - 更新なし。更新は兵庫県立大 小野田先生に依頼する。
- 技術伝承を目的とした電力設備の絶縁診断（委員長：岩本委員）
    - 2014 年 11 月 14 日に、委員会を開催済み。
    - 2015 年 1 月 23 日に、委員会を開催予定。
    - 2015 年 3 月 25 日に、電気学会 全国大会でシンポジウムを開催予定。
- インバータ駆動モータコイルの絶縁評価法（委員長：永田委員）
    - 関連研究会の開催を依頼中。今年度は 2 月、来年度以降は 4～6 月の開催を目指す。
- 電力機器の革新的診断技術の現状と将来展望（委員長：池田委員）
    - 2014 年 9 月 16 日に、委員会を開催済み。
    - 2014 年 12 月 11～12 日に、委員会を開催予定。
    - 2015 年 3 月 9 日に、委員会を開催予定。

- アジア地区における有機誘電体・導電性電気電子材料研究の最前線に関する（委員長：岩本委員）
    - 2013 年 10 月に解散済み、2014 年 3 月に技術報告原稿を提出済みであるため、技術報告の発行を確認する(発行日，技術報告番号など)。
- 新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御（委員長：加藤委員）
    - 2014 年 3 月に解散済み、2014 年 8 月に技術報告書を提出済み(未提出だった著作権譲渡書 1 件については解決済み)。
    - 技術報告は、2015 年 3 月に発行予定。
- 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術（委員長：本間委員）
    - 2013 年 3 月に、解散済み。
    - 2015 年 12 月までに、技術報告を提出予定。
- PEA 法による空間電荷分布測定の校正法標準化と応用測定の開発（委員長：田中委員長）
    - 2012 年 2 月に解散済み。
    - 2014 年 12 月末に、技術報告を提出予定。
- 屋外用ポリマー絶縁材料の表面機能と長期性能（委員長：本間委員）
    - 2008 年 12 月に解散済み、2014 年 6 月に技術報告書を提出済みであるため、技術報告の発行を確認する(発行日，技術報告番号など)。
- 高電界電気絶縁における電荷挙動と界面（委員長：長尾委員）
    - フォローシートから削除する。
- 後継の調査専門委員会の立ち上げについて
    - コンポジット材料関係の調査専門委員会の立ち上げに向けて、名古屋大学早川先生に委員長への就任を依頼中。2015 年初頭の立ち上げを目指す。
    - 空間電荷の後継調査専門委員会については、前査専門委員会での技術報告に目処がついた時点で、立ち上げを検討する。
    - ポリマー碍子の後継調査専門委員会の立ち上げについては、布施幹事補佐から電力中央研究所 本間様に問い合わせをする。
    - シミュレーションに関する調査専門委員会の立ち上げについては、時機を見ている状態。2015 年 12 月ぐらいの立ち上げを目指す。また、勉強会の開催、今後の進め方などを幹事団で検討する。

5-11. 平成 26 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定の確認（西川幹事）

資料 DEI-215-8 に基づき、平成 26 年度(2014 年度) 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(4 次案)の確認を行った。

- 2014 年 11 月 28 日に、秋田で研究会(ケーブルシステムの絶縁技術・トリー・トラッキング)を開催済み。発表件数は、11 件であった。
- 2014 年 12 月 9 日に、名古屋(豊橋技術科学大学. 名古屋駅前イノベーションハブ)で、研究会(空間電荷・ナノコンポジット)を開催する。発表件数は 9 件となった。
- 2015 年 1 月に、タイでの開催を予定していた研究会(テーマ：エレクトロニクスおよびフォトニクス先端ナノ材料・デバイス，電子材料研究会との合同)は、来年度に延期とする(今年度は開催しない)。

- 2015 年 1 月 21，22 日に、有機材料・一般の研究会を電子情報通信学会との連催で開催する。場所は、岡崎の分子研とする。とりまとめは、森先生(愛知工大)が行ない、発表件数は 13 件の予定である。
- 2015 年 1 月に、放電技術委員会，高電圧技術委員会との共催の研究会(真空放電・気体放電・液体放電・放電・高電圧・材料一般)を開催する。場所は、九州大学とする。発表件数は 21 件の予定である。
- 2015 年 3 月に、劣化診断、機器・ケーブル絶縁一般の研究会を、電線・ケーブル技術委員会との共催で開催する。場所は、関西地区(中央電気倶楽部)とする。今後も定期的に関西地区での研究会を開催するように計画する(4，5 月の開催がよい)。
- 2015 年 3 月 9 日の午前に、九州地区(九州工業大 百周年中村記念館)にて、第 216 回の技術委員会を開催する。
- 2015 年 3 月 9 日の午後に、九州地区(九州工業大 百周年中村記念館)にて、国際会議報告・学際分野・絶縁一般の研究会を開催する。国際会議報告については、ISEIM 布施幹事補佐，CEIDP 田中委員長，CMD 小迫先生(九州工業大)，IEC 岡本様(電力中央研究所)，CIGRE 穂積先生(豊橋技術科学大)に依頼する。
- 2015 年 3 月 25 日の全国大会シンポジウムにおいて、「高電界電気絶縁における空間電荷挙動の最前線」および「技術伝承を目的とした電力設備の絶縁診断技術」のシンポジウムを開催する。

5-12. 第 46 回 電気電子絶縁材料システムシンポジウム(絶縁シンポジウム)について（田中委員長・布施幹事補佐）

資料 DEI-215-9 に基づき、第 46 回絶縁シンポジウムについての検討を行い、下記のことを取り決めた。

- 開催期日は、2015 年 9 月 3 日(木)～5 日(土)とする。
- 開催場所は、九州工業大学 戸畑キャンパス 百周年中村記念館とする。
- 協賛として、日本 CIGRE 国内委員会を入れるかを、豊橋技術科学大 穂積先生に確認する。
- 一般募集のテーマは従来通りとする。
- 招待講演については、家田賞受賞講演，矢作賞受賞講演の他に、特別講演を行うかを検討する。特別講演を行う場合、講演者についても検討する。
- 企画セッションは、電力機器の革新的診断技術の現状と将来展望 調査専門委員会(委員長：池田委員)が中心となって取りまとめる。
- MVP セッション，SS セッションは、前回と同様に実施する。
- 予稿は例年通り、一般講演 4～6 ページ、ポスター2 ページとする。
- 参加費は前回と同様とする。また、学生の参加を促すため、参加費を予稿集込みで、学生会員 5,000 円、学生非会員 6,000 円とする。
- 参加費の事前のクレジットカード払いを検討する。
- 絶縁シンポジウムの開催案内を、2015 年 3 月までに当技術委員会の Web-site に、2015 年 4 月の電気学会 News Letter に掲載する。
- 会議の運営および組織の項目において、表彰委員会メンバーは記載せず、表彰委員会委員長の名前のみを記載する。

5-13. その他

IEEE DEIS の 2015 年 AdCom に、田中委員長および大木先生(早稲田大)が当選した(田中委員長は新任，大木先生は継続)。日本のプレゼンスの向上に向けて、次回以降の技術委員会で、下記の検討をしていきたい。

- 当技術委員会と DEIS と連携強化。
- CEIDP において、日本からの発表を Oral に推薦する(プログラム委員会委員である沼津高専 遠山先生とも連携)。
- 当技術委員会の活動の PR。

６．次回(第 216 回)技術委員会の開催

第 216 回 誘電・絶縁材料技術委員会は、2015 年 3 月 9 日に、九州工業大学 百周年中村記念館にて開催する。

－以上－